令和５年度　安曇野市福祉有償運送運営協議会　会議概要附属機関等の名称　会議概要

|  |
| --- |
| １　審議会名　　　第１回（令和５年度第1回）安曇野市福祉有償運送運営協議会  ２　日　　時　　　令和６年２月８日　午前　10時から11時まで  ３　会　　場　　　安曇野市役所　共用会議室305  ４　出 席 者　　　安曇野市社会福祉協議会：千國委員、安曇野市民生児童委員協議会：布山委員、安曇野市身体障害者福祉協会：丸山委員、安曇観光タクシー株式会社：耳塚委員、  長野県企画振興部交通政策課：丸山委員（代理：中川主事）高齢者介護課長：髙橋委員（会長）  ５　担当課出席者　高齢者介護課　蓮井長寿福祉係長、水谷主査  ６　会議概要作成年月日　　　　　　　令和６年２月13日 |
| 報　　告　　事　　項　　等 |
| 【会議概要】  １　開　　会（事務局）  ２　会長あいさつ  　３　報告及び協議事項  (１) 安曇野市社会福祉協議会  ・定期報告（会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等）  (２)ＪＡあづみくらしの助け合いネットワークあんしん  ・定期報告（会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等）  ４　そ の 他  ５　閉　　会（事務局）  【報告事項】  １　安曇野市社会福祉協議会  （１）定期報告（会員及び運行管理の状況、苦情処理等）  （社協）昨年度からの変更や苦情はなし。利用人数のべ22名、合計で67回。  実績10万9460円、支出額112万4726円で差引100万円余の赤字となった。  （２）今後の展望  （社協）利用者の減少に伴い赤字ではあるが、利用者が望む限り、事業は継続したい。  【主な質疑】  （委員）今までの最大利用者数は。また赤字はどうやって営業しているのか。  （社協）最大で10名程度と記憶している。赤字は、介護事業全体の黒字で補填している。  （委員）ライドシェアや自家用有償旅客運送の新たな運賃目安の、タクシー料金8割に従って値上げを検討してもいいのでは。  （委員）日本版ライドシェアの一定程度の解禁が国で検討している。今後、新たな情報があれば県と共有していく。 |
| ２　ＪＡあづみくらしの助け合いネットワークあんしん  （１）定期報告（会員及び運行管理の状況、苦情処理等）  （あんしん）昨年度からの変更や苦情はなし。  利用者登録数は2名だが、2名とも利用できない状態となり、事業は休止状態である。  （２）今後の展望  （あんしん）事業をやめたくないが、解決策は見えていない。  【主な質疑】  （委員）ここ最近の新規登録の状況は。  （あんしん）新規登録はなし。相談があっても利用に繋がらない。  （委員）私用車の借り上げに対する費用はあるか。  （あんしん）なし。  （委員）事業継続するならば地域への周知宣伝を増やす。しかしながら、運転手不足では多くの利用者の受け入れは難しいため、事業規模のバランスの見極めが非常に大事。  （委員）運転手不足はバスやタクシーを含め業界全体の問題であり、なかなか一朝一夕での解決はできない。恐らく事業者だけでは限界があるので、事務局やいろいろな人を巻き込んでやるのがよい。  （委員）介助できる人材が運転手というのは、大きな強み。頑張ってほしい。  （会長）交通弱者の問題は公共交通も含め、事務局も一緒に取り組むべき課題と認識している。  しかし、潜在的なニーズを掘り起こしても事業者がいない状況は問題である。今後も福祉有償運送の制度を生かした形で課題解決に尽力していく。 |